



図1 宇都宮商工会議所 女性部 組織図



「宮の市(商業祭)」での食品販売



毎月行っている中心市街地での清掃

などをテーマとした事業を、継続事業として続けています。  
毎年10月末〜11月初めに開催される「宮の市(商業祭)」には、女性部としてのブースを出し、バザーや食品販売を実施して

女性部の組織(図1)には、2つの委員会があります。そこで今回は、会長と各委員長の3人にお集りいただき、女性部の活動を振り返り、これからの展望についてお話しいただきました。  
——会長になられて5年、振り返ってみてどのように感じますか。  
福田 女性部は現在会員数が67人です。私が女性部の第4代会長として、柿沼光子前会長から引き継いで、あつという間に5年がたちました。その間、会員の皆さんに助けられながら、さまざまな事業を行ってき

「原点に戻って活動をみつめ直したい」(福田会長)



25周年記念式典にて

これまでの経験を、これからの活動に生かしていきたいきましょう!

平成27年に創立25周年を迎えた宇都宮商工会議所女性部。昨年12月2日(水)には記念事業として講演会や式典、パーティーなどを行い、盛大に祝いました。今回は、これまでの女性部の活動を振り返り、福田泰子会長と事業委員会の山森睦美委員長、それに総務委員会の西岡美沙委員長に、お話をうかがいました。

した。本当にありがたいことだと感謝の気持ちでいっぱいです。  
数年前、商工会議所がどのように生まれれたかについて、ビデオを拝見しました。明治時代に、渋沢栄一氏が「これからの日本をより良い国にするために、経済人が力を合わせる場を作りたい」という熱い想いを抱いたことが始まりだったと教えられ、顧みて自分たちの活動はどうなのかと反省させられました。

渋沢栄一氏が始めた原点に戻り、これから私たちがどんな活動をしていかなければならないか、もう一度みんなで考えていかななくてはならないと思っています。  
現在、政府も「女性の力を生かす」という政策を進めています。女性は男性とは別の考え方をしますから、同じ問題に直

面しても、女性の柔軟な発想で新たな角度から取り組むことができると思います。女性の力をもっと取り入れることで、企業活動も、社会全体も、より良く成長できるのではないのでしょうか。

「宮の市(商業祭)やハート&ハートの集い、月1回の清掃活動、産業視察など」(山森委員長)

山森さんは、事業委員長として女性部に貢献されています。

山森 事業委員会は37人で、女性部で行う事業について企画・立案しています。先輩方のご指導を受けながら、「中心街活性化、少子高齢化、産業視察、環境、福祉」

ます。また年1回「産業視察」として、県内外のさまざまな企業や商業地など先進事例を視察に行き、勉強しています。それから、近年力を入れてきたのが、男女に出会いの場を提供するお見合いパーティー「ハート&ハートの集い」です。こちらは、これまでに8回開催しています。  
福田 私の会社の社員も、出席させていただいています。これまでに2組のカップルが生まれました。  
山森 おめでとうございます。  
福田 運営は大変ですが、評判がよいのでうれいすね。  
山森 今年度は独自の事業ではなく、宇都宮市の婚活事業「結婚力アップ講座+交流会」の支援という形でした。宇都宮市もぜひ力を入れていますね。  
それから、毎月1回第1土曜日、中心市街地の清掃活動に参加しています。これはもう14年目になります。

「しもつけ草」の発行や各種会合の運営など」(西岡委員長)

——総務委員長の西岡さんは、今年度は大忙しでしたね。

西岡 総務委員会は、委員が30人です。年1回発行している女性部の会報「しもつけ草」の作成や通常総会、市長との新春懇談会、親睦会などの開催、各種セミナーの企画などをしてしています。  
福田 今年度は創立25周年記念行事もあつたから、西岡さんにはご苦労をかけたと思います。  
西岡 いえ、記念行事は実行委員会をつくるので、全員で力を合わせたから成功できたんですよ。  
山森 私も以前総務委員会に属していたから分かるのですが、活動内容が一般会員には伝わりにくいんですね。  
西岡 そうですね。もう少しがんばって周知できれば良かったと感じています。  
以前は事業委員会にいたので、私自身最初は「何をやればいいのかわからない」と感じました。先輩方いろいろ教えていただきながら、だんだんと勉強して、何とか2年間委員長として続けてこられたと思います。  
福田 「しもつけ草」はいつも総会で配布するんですね。  
西岡 はい、6月の通常総会に間に合うように5月までに作っています。会員紹介や宇都宮の歴史、1年間の活動記録などを掲載しますので、文字が多くなり過ぎないように気をつけています。

「しろうちゃん」は女性部の発案」(福田会長)

福田 いま、商工会議所のマスコットとして活躍している「しろうちゃん」は、女性部の発案で作ったんです。ゆるキャラが流行っていて、あちこちの自治体や商工会議所でも独自のキャラクターを作るようになって



出席者 宇都宮商工会議所女性部 福田泰子会長(中央) 同 事業委員会 山森睦美委員長(左) 同 総務委員会 西岡美沙委員長(右) (司会 本誌編集部)



「宮の市(商業祭)」でのバザー



つつ、新しいことを加えていく時期にさしかかっていると思います。例えば趣味の会などを行って、その中で自然に出会いが生まれるようにするのも、一つのアイデアではないでしょうか。趣味が同じ人同士であれば、話も弾みますよね。



事業委員会  
山森睦美委員長

山森 私の任期はもうすぐ終了ですが、

最後にひとことずつお願いします。

### 「25周年を新しいスタートラインに」

(福田会長)

策として大きな予算を組んでいますし、私たちの実績を積み上げていけばそういった補助金、助成金の活用も可能になるでしょうから、今後はさらに知恵を絞って社会貢献を続けていきたいと思っています。

西岡 社会貢献といえば、月1回の清掃活動も長く続いていますね。

山森 あれは楽しいですよ。地域の方の役に立てることもありますが、清掃活動に参加すると、毎回これから中心部で行うイベントなどを教えてもらえるんです。

私は江曾島に住んでいるので、中心部の情報が入り入って来ませんから、とても助かります。そういう形の情報発信も参考にしたいですね。

25周年記念パーティーの様子



人気のマスコット「しょうちゃん」

### 「宮の市(商業祭)では、売れ残りはほとんどありません」

(山森委員長)

山森 「宮の市(商業祭)」で2日にわたって出店しています。初日がバザー、2日目は食品販売です。どちらも毎年大人気で、おかげさまでほとんど売れ残りはありません。バザーでは、やはりブランドものの売れ行きがいいですね。オープン前から待つておられる方もいらっしやいます。人気のものは、午前中

くらいで売れてしまいます。それから小物、雑貨は人気があります。

食品も、皆さまにご協力いただき、今まで売れ残ることはありませんでした。本当にありがたいですね。

福田 バザーの商品を集めるのは、なかなか大変なんです。最近では、ものではなく、カタログから選ぶ形の贈り物も多いでしょう。ですから、家庭で余っているものが以前より少なくなってしまう。

山森 この2、3年は、店舗で火を使うのに必要な行政機関の許可も難しくなっています。大きな事故があったせいでしょね。そのために、今年度は残念ながら、カレーなど温かい食べ物が出せませんでした。来年度は工夫する必要があると思います。「宮の市(商業祭)」の出店はもう長いので、何か新しい方向も考えた方がいいでしょうね。時代に合わせて、少しずつ変わっていかなくては。



総務委員会  
西岡美沙委員長

福田 それは、女性部全体の活動にもあてはまりますね。

### 「お返事をいただけない方にはお電話でお誘いします」

(西岡委員長)

西岡 総務委員会では毎年セミナーを開催しています。昨年度は、宇都宮の歴史についてのセミナー(蒲生君平について)と、経営者資質向上のためのセミナーを開催しました。皆さまに関心を持っていただけてはいるのですが、お忙しい方が多いので、いかに来ていただくかに心を砕きました。ご案内を出した後でも、折に触れてお誘いしたり、お返事をいただけない方にはお電話をおかけしたりしました。

山森 人を集めるのは、本当に大変ですよ。ね。「ハート&ハートの集い」でも、参加者募集のために、いろいろ工夫しています。天地人に案内を出すだけではなかなか集まりませんから、担当や事務局などで企業を訪問したり、知っている事業所などに



昨年12月2日に市内ホテルで開催された記念行事(記念講演会)

これからも女性部の活動には力を入れていきたいと思っています。せつかくさまざまな経験を積み重ねていただいていますから、それを踏まえて、もっと活動を広げていけたら楽しいでしょう。私たちの事業を行政が後追いするくらいになれば、素晴らしいと思います。

西岡 初めての総務委員会できいきなり委員長を務めたものですから、いたらないことばかりだったと思います。それでもやってこられたのは、会長副会長をはじめ諸先輩方のご指導のおかげです。今後も、まだまだ

声をかけていただいたりしています。

福田 人数を集めるだけでなく、男女同じ数にならないといけないので、大変ですよ。

山森 それに、バランスもとれていない話が弾みません。なかなか苦労がありますね。

これまでに8回開催してきましたので、ノウハウも蓄積しています。それを生かし

25周年記念式典で商工会議所女性部活動指針を唱和



福田泰子会長

勉強を続けながら、少しでも皆さんのお役に立てるよう成長していきたいと思っています。

福田 25周年はひとつの通過地点ですが、同時に「ここから新しく始めよう」というスタートラインでもあると思うのです。これまで積み上げてきたものを大切にしつつ、心は新しいスタートと考え、取り組んでいきたいと考えています。

会員の皆さんそれぞれに、いろいろな想いを持っておられます。それらをもう一度お聞きしながら、みんなが楽しく活動できる女性部を作っていくことが、私の夢です。

女性部の草創期には、みんなで夜集まったり、七夕飾りを作ったりしたものです。あの頃の手づくりでつながっていく感覚を大切に、楽しい中に勉強にもなる女性部の活動を、もっと盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

ありがとうございました。

(取材協力 ホテル丸治)